

50th

国文学研究資料館創立50周年記念事業

2022年度
(令和4年度)賀茂真淵記念館
国文学研究資料館第2回
賀茂真淵セミナー

開催日 2022年(令和4年)
9月25日(日) 14:00~16:30

場所 アクトシティ浜松
コンgresセンター 43・44会議室

※専用駐車場がありませんので、公共交通機関が周辺有料駐車場をご利用ください。

講師 名古屋市立大学・准教授
かとう ゆみえ
加藤 弓枝【演題】歌人としての賀茂真淵—出版された家集を中心に—
明星大学・教授
あおやま ひでまさ
青山 英正【演題】賀茂真淵の万葉集注釈—近世におけるその位置づけ—

定員 72名

受講料 無料

申込方法 事前申込制 先着順

- ① ホームページの賀茂真淵セミナー申込欄
(<http://www.mabuchi-kinenkan.jp/>) ※または右下QRから
- ② Eメール (kamonomabuchikinenkan@na.commufa.jp)
- ③ FAX (053-456-8050)
- ④ 往復葉書 (〒432-8036 浜松市中区東伊場一丁目22番2号賀茂真淵記念館)

上記いずれかの方法で、「賀茂真淵セミナー申込み」と記入のうえ、住所、氏名、電話番号、メールアドレス(お持ちの方)を記入してお申し込みください。

①~③の申し込みで、正しいメールアドレスの記載のある方のみ、Eメールで受講券を発行します。

受付開始 8月15日 先着順

締切 9月13日 ただし、定員になり次第締切

締切延長しました

お問い合わせ 浜松市立賀茂真淵記念館 一般社団法人 浜松史蹟調査顕彰会
〒432-8036 浜松市中区東伊場一丁目22番2号 TEL・FAX (053) 456-8050
ホームページ <http://www.mabuchi-kinenkan.jp/>
Eメール kamonomabuchikinenkan@na.commufa.jp

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンライン開催に変更することがあります。また、ご記入いただいた個人情報は、当行事運営のためのみに使用します。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、濃厚接触者等の把握が急がれる場合、保健所等の公的機関に情報提供する場合があります。

主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

共催 浜松市、一般社団法人浜松史蹟調査顕彰会

お申し込み
はこちら



第2回 賀茂真淵セミナー



講師

名古屋市立大学・准教授

かとう ゆみえ

加藤 弓枝

歌人としての賀茂真淵—出版された家集を中心に—

万葉集を研究していた真淵は、自身が詠む和歌も万葉調と呼ばれるものでした。江戸時代後期、真淵の和歌は上田秋成と村田春海によって編纂され、それぞれ『安賀当居乃歌集』と『賀茂翁家集』という2種類の家集として公刊されます。その出版の意義や背景について、江戸時代における歌書享受の実態に即しながらお話します。



講師

明星大学・教授

あおやま ひでまさ

青山 英正

賀茂真淵の万葉集注釈—近世におけるその位置づけ—

真淵が万葉集の研究に多大な功績を残したことはよく知られています。では、真淵は万葉歌をどのように理解していたのでしょうか。今回は、研究の基本とも言える注釈という営みに着目し、真淵の万葉集注釈のあり方を、北村季吟、契沖、荒木田久老、本居宣長といった江戸時代の他の学者と比較しながら考えてみたいと思います。



場所 アクトシティ浜松コンgresセンター43・44会議室
静岡県浜松市中区板屋町111-1

主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

共催 浜松市、一般社団法人浜松史蹟調査顕彰会

お問い合わせ 浜松市立賀茂真淵記念館 一般社団法人 浜松史蹟調査顕彰会
〒432-8036 浜松市中区東伊場一丁目22番2号
TEL・FAX (053) 456-8050
<http://www.mabuchi-kinenkan.jp/>
kamonomabuchikinenkan@na.commufa.jp

お申し込みはこちら

